

# KOIZUMI コイズミ照明器具

**施工取扱説明書**

LED 高天井照明器具 【軽量タイプ】

保存用

型番 [器具] **XH91907L**

[LED 用直流電源] **XE91910E**

**工事店様へ** 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。  
この説明書は必ずお客様へお渡しください。


## 【安全上のご注意】


 <b>警告</b> この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
<p>高温、粉じん、油煙、腐食性ガス、塩害のある場所、振動・衝撃のある場所、プールで使わない。(落下・感電・火災の原因)</p> <p>引火する危険のある雰囲気では使わない。(ガンリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない) (火災の原因)</p> <p>掘り込まれた狭い空間や狭い容積の密閉された空間で使わない。(器具の過熱による火災、短寿命の原因)</p> <p>器具は壁面、補強のない天井に取付けない。上向き点灯姿勢で取付けない。(火災・落下の原因)</p> <p>器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災・感電・落下の原因)</p> <p>器具のカバーに衝撃を加えたり、破損した状態で使わない。(落下の原因)</p> <p>表示された電源電圧以外で使わない。(火災・感電の原因)</p> <p>器具取付けの際は電線を挟まない。(絶縁不良により感電・火災の原因)</p> <p>配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。(絶縁破壊により感電・火災の原因)</p> <p>器具を覆わない。カバーに何も貼りつけない。(過熱による火災の原因)</p> <p>カバーに塗料などを塗らない。(過熱による火災の原因)</p> <p>器具側端子台に商用電源、HID ランプ用安定器、適合外の電源装置を接続しない。(火災、感電、故障の原因)</p> <p>LED 用直流電源装置の極性 (+、-) と器具側端子台の極性 (+、-) を絶対に間違えない。(火災、感電、故障の原因)</p> <p>LED 用直流電源装置の出力側を器具に接続しないまま、電源を投入しない。(感電の原因)</p> <p>LED 用直流電源装置に通電した状態で、器具側配線を接続しない。(感電、故障の原因)</p> <p>信号線端子台には電源線を接続しない。(過熱・損傷し火災の原因)</p>	<p>施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程、取扱説明書に従って行う。(施工不備により、火災、落下、感電の原因)</p> <p>器具の取付けは取扱説明書に従い行う。(不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)</p> <p>器具の取付けは器具質量の荷重に耐える構造躯体に取付ける。(落下の原因)</p> <p>LED 用直流電源装置の取付けは質量等の荷重に耐える構造躯体に取付ける。(落下の原因)</p> <p>LED 用直流電源装置は指定の方向に取付ける。(指定以外の取付けは、落下・火災の原因)</p> <p>電線の接続は適合太さの電線を指定長さで被覆をむき、1本ずつ端子台の奥まで差し込む。(差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)</p> <p>D種 (第3種) 接地工事を確実にを行う。(接続不備は感電の原因)</p> <p>アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)</p> <p>器具の取付けは確実にを行う。(取付けが不完全な場合、落下の原因)</p> <p>LED 用直流電源装置を確実に固定する。(取付けが不完全な場合、落下の原因)</p> <p>LED 用直流電源装置の口出し線に、器具側配線を確実に接続する。(接続が不完全な場合、接続不良による発熱により、火災の原因)</p> <p>LED 用直流電源装置の口出し線と器具側配線の接続部は絶縁被覆処理を確実に施す。(接続部の絶縁処理が不完全な場合、漏電、感電の原因)</p> <p>電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。(接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因)</p> <p>送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する。(容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)</p> <p>被照射面とは 1 m以上離す。(火災の原因)</p>

禁止

厳守

**器具の清掃**

 **警告** 電源スイッチを切ってから行う。(感電の原因)


 **注意** 点灯中及び消灯直後の器具には触らない。(高温のためやけどの原因)

<器具のお手入れについて>  
器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。  
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

**お知らせ**

- ・点灯、消灯時にカバー、反射板の収縮・膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。
- ・LED にはバラツキがあるため、器具内の個々の LED や同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- ・壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。

**異常時の処置**


 **警告** 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)  
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

**お客様ご相談窓口のご案内**

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。  
(ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にならない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

**製品・お取り扱いなどのご相談は**

お客様相談室

ナビダイヤル (全国共通番号) 電話  **0570-055123**  
受付時間：9:00～17:30  
(日曜日・祝祭日・12月31日と年始3日を除く)


**修理・アフターサービスのお問い合わせは**

サービスセンター

ナビダイヤル (全国共通番号) 電話  **0570-015123**  
FAX  **0570-025123**  
受付時間：9:00～17:30  
(日曜日・祝祭日・12月31日と年始3日を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などに変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2017年7月現在)

**愛情点検** ★長年ご使用の照明器具の点検を！



ご使用の際このような症状はありませんか

➔

ご使用中

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、必ず販売店に点検、修理を依頼してください。

- スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
- プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
- プラグ、コード、本体などが異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- コードに傷や痛みが見られる。
- グローブ、セードなどにひびが見られる。

**安全に関するご注意**

- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

**保証とアフターサービスについて**

**保証について**

この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。  
ランプ(LED電球含む)、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。  
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。  
取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。



**修理を依頼される時**

ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。  
ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

コイズミ照明株式会社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

この説明書は、再生紙を使用しています。

**注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、  
 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

 禁止	雨、風のあたる場所や湿気が多い場所（85%RHを 超える）で使わない。（落下、感電の原因） 冷蔵冷凍庫など使用不可。	 厳守	周囲温度は-10℃～40℃以下で使用する。本器 具は周囲温度が40℃以下で使用するよう設計して あります。夏季など一時的であれば定格欄に示す周 囲温度範囲で使用することは可能です。 （常時高温での使用は短寿命、故障、発煙の原因）
	落下等による衝撃を受けたLED用直流電源装置は 使用しない。		LED用直流電源装置を1ヶ所にまとめて設置する 場合、電源装置相互間は100mm以上離れるよう にし、通風を良くして、使用周囲温度範囲内で使用 する。（高温での使用は短寿命、故障、発煙の原因）

**お願い**

- ・温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスが発生する場所  
 での使用はお避けください。光学特性等に不具合が発生  
 することがあります。
- ・商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器は電源ユ  
 ニットの周波数と干渉して誤作動する場合がありますので、  
 事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
- ・電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力  
 線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- ・器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せると  
 チラツキや騒音の発生、LED用直流電源装置故障の  
 恐れがあります。リレー接点式人感センサスイッチを  
 ご使用ください。

**適合直流電源装置組み合わせ時の特性**

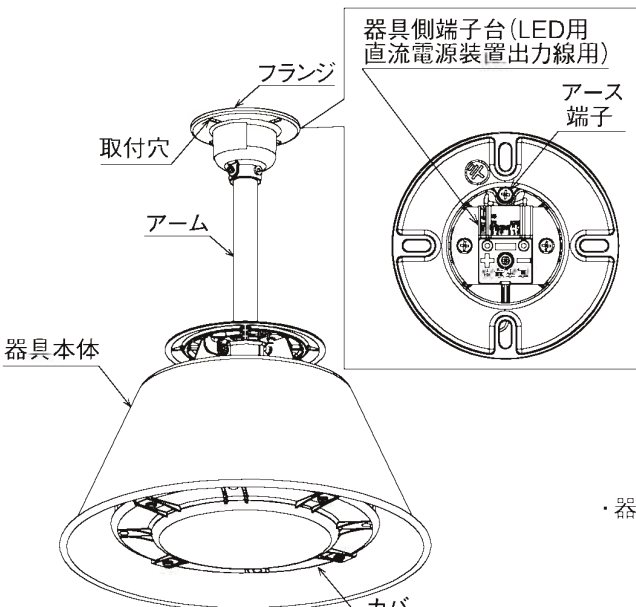
定格	周波数	入力電流			消費電力			一時的に使用可能な高温の周囲温度	
		100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200 - 242V
定格電圧									
AC100 - 242V	50/60Hz	0.74A	0.36A	0.30A	73.6W	72.1W	72.0W	-10℃～45℃	-10℃～60℃

**各部のなまえと取付けかた**

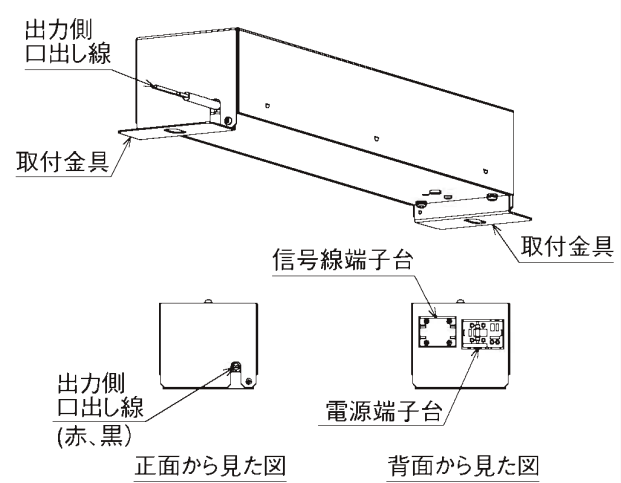
**警告** 器具の取付けは取扱説明書に従い行う。  
 （不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

器具とLED用直流電源装置は、  
 別売となります。

[器具]



[LED用直流電源装置]



・器具とLED用直流電源装置は、適合する組合せで使用する。

器具	LED用直流電源装置
XH91907L	XE91910E

**1 取付前の確認**

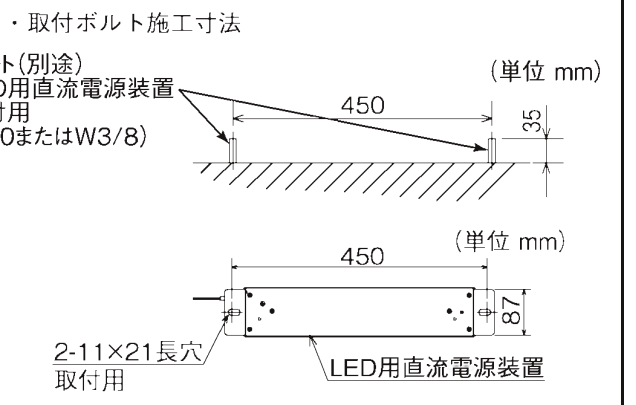
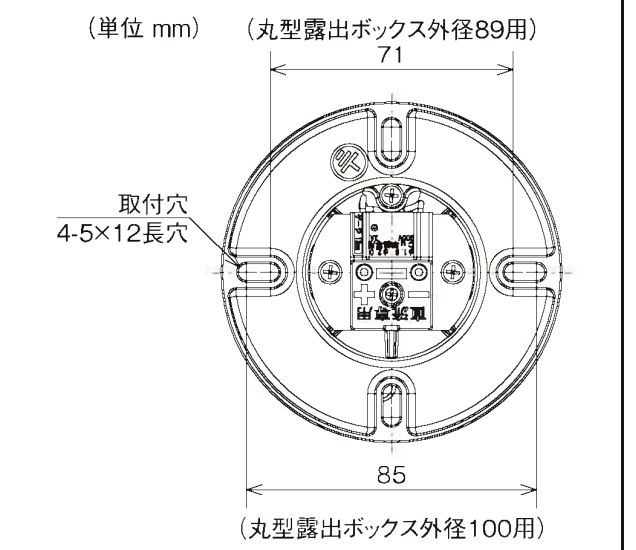
- [器具]
- ・器具質量（約 1.8 kg）に十分耐えるよう、  
 取付部の強度を確保する。
  - ・取付用のねじは、地震発生や強い衝撃を受けた  
 場合など、器具が揺れた場合でも構造躯体から  
 外れないよう確実に固定する。

**警告**  
 器具の取付けは器具質量の荷重に耐える構造躯体に  
 取付ける。（落下の原因）

- ・市販の水準器等を使用して、取付面が水平かつ  
 平滑面であることを確認する。

- [LED用直流電源装置]
- ・LED用直流電源装置の質量（約 0.9 kg）に十分  
 耐えるよう、取付部の強度を確保する。
  - ・取付用のボルトは、地震発生や強い衝撃を  
 受けた場合など、器具が揺れた場合でも構造  
 躯体から外れないよう確実に固定する。

**警告**  
 LED用直流電源装置の取付けは質量等の荷重に  
 耐える構造躯体に取付ける。（落下の原因）



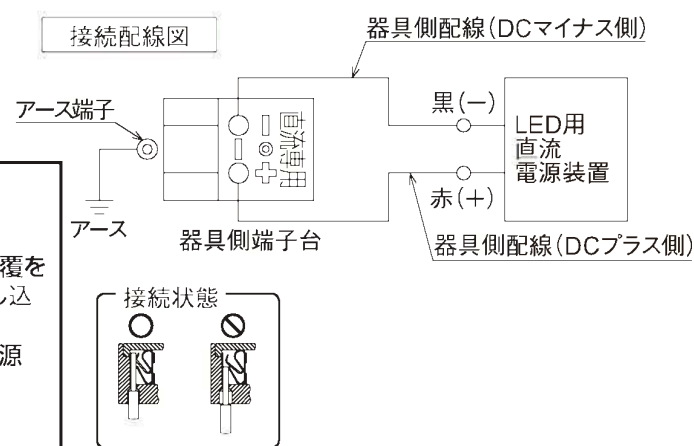
・取付方向

	垂直取付	水平取付	横向取付
使用場所	端子台 取付面 端子台	取付面	取付面
屋内	○	○	○
	×	×	○

**警告**  
LED用直流電源装置は指定の方向に取付ける。(指定以外の取付けは、落下・火災の原因)

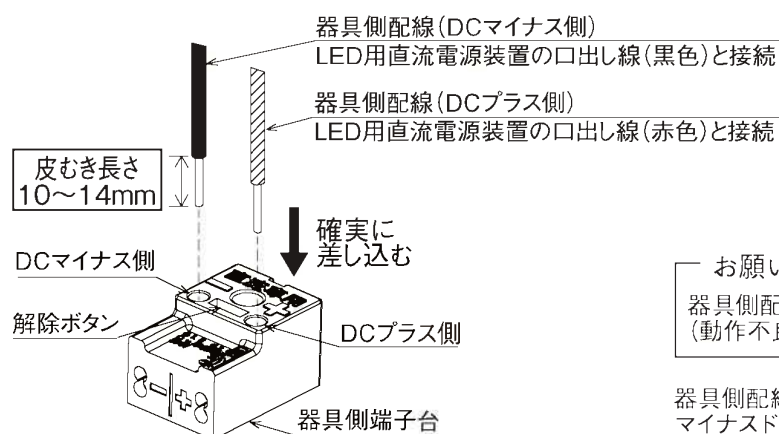
## 2 器具側配線 (別途手配) を器具の DC 入力専用端子台に接続する

- (1) 器具側配線を器具側端子台の差し込み穴に確実に差し込む。LED用直流電源装置の極性と端子台の極性に注意する。  
適合電線: φ 1.6 mm 単線  
φ 2.0 mm 単線



**警告**

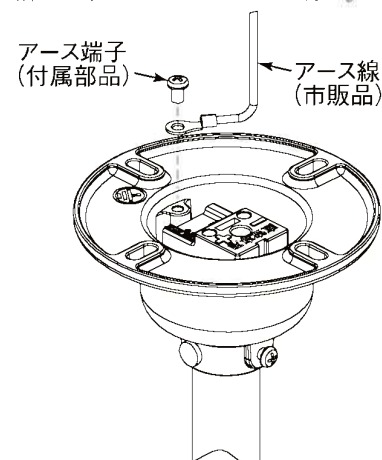
- 電線の接続は適合太さの電線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ端子台の奥まで差し込む。(差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)
- 商用電源、HID ランプ用安定器、適合外の電源装置を接続しない。(火災、感電、故障の原因)
- 接続は極性 (+、-) を絶対に間違えない。(火災、感電、故障の原因)



お願い  
器具側配線長は50m以下とする。  
(動作不良の原因)

器具側配線を端子台から取り外すときは、マイナスドライバーを解除ボタンへまっすぐに押し込む。

- (2) アース線を確実に接続する。  
D種(第3種)接地工事を確実に進行。

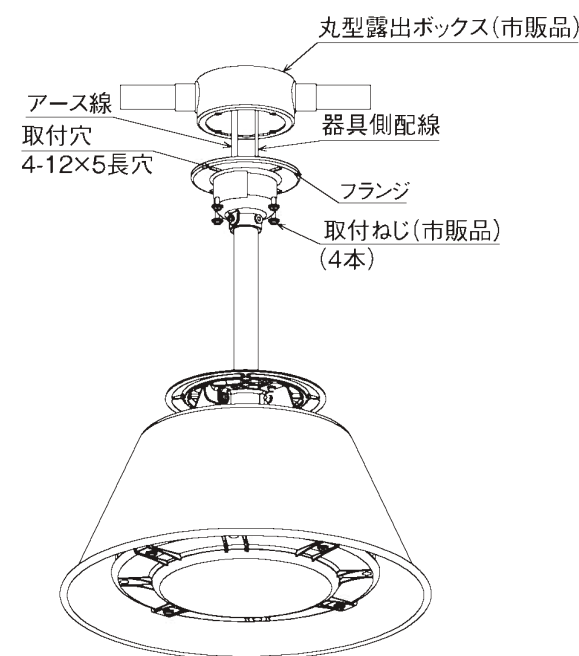


**警告**

- D種(第3種)接地工事を確実に進行。(接続不備は感電の原因)
- アース工事は電気設備の技術基準に従い進行。(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

## 3 器具を取付ける

- (1) 器具の取付けは安全施工のため、2名以上で行う。  
(2) 接続した器具側配線が露出ボックス内におさまるようにして、フランジの取付穴4ヶ所を取付ねじ(なべ小ねじ M4、長さ 15~20)、平座金、ばね座金にて確実に固定する。(推奨締付けトルク 1.5N・m) (トラスねじは使用できません。)

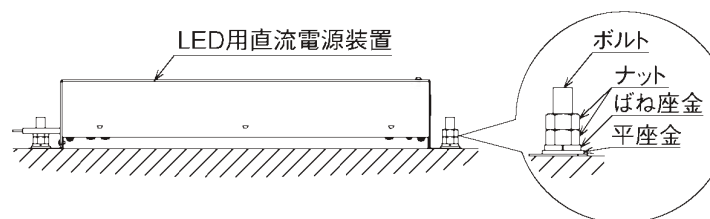


**警告**

器具の取付けは確実に行う。  
(取付けが不完全な場合、落下の原因)

## 4 LED 用直流電源装置を取付ける

取付金具(2ヶ所)を使用し、別途手配のボルト(M10またはW3/8)、平座金、ばね座金、六角ナット(ダブルナット)を用いて、緩みのないように確実に固定する。(推奨締付けトルク 25N・m)

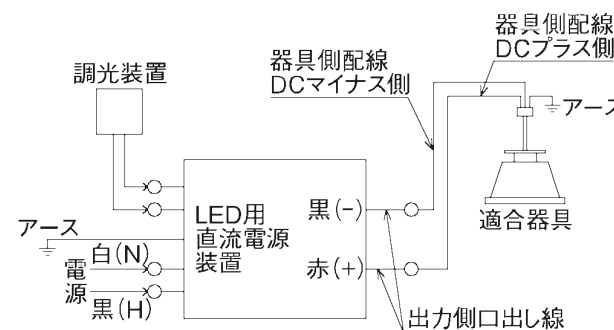


**警告**

LED用直流電源装置を確実に固定する。  
(取付けが不完全な場合、落下の原因)

## 5 器具側配線、調光装置側配線、電源線、アース線を LED 用直流電源装置の口出し線及び端子台に接続する

- (1) 電気設備の技術基準省令第7条に従い、LED用直流電源装置の出力側口出し線に、器具側配線を圧着端子、スリーブ等を用いて確実に接続する。



**警告**

- LED用直流電源装置の極性と器具(端子台)の極性に注意する。
- LED用直流電源装置の口出し線に、器具側配線を確実に接続する。(接続が不完全な場合、接続不良による発熱により、火災の原因)
- 接続は極性 (+、-) を絶対に間違えない。(火災、感電、故障の原因)
- LED用直流電源装置に通電した状態で、器具側配線を接続しない。(感電、故障の原因)

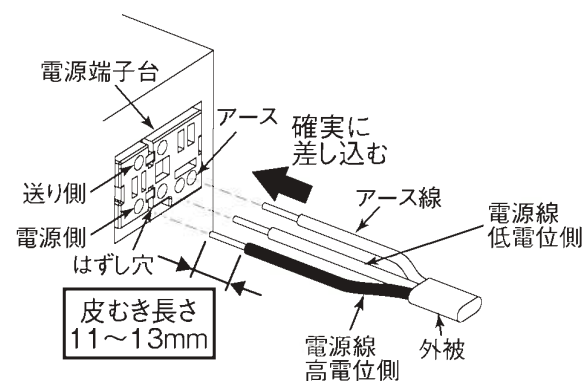
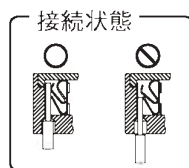
(2) 接続部は絶縁テープ等で絶縁被覆処理を確実に施す。



(3) アース線（緑）を使用して、D種（第3種）接地工事を確実に施行する。

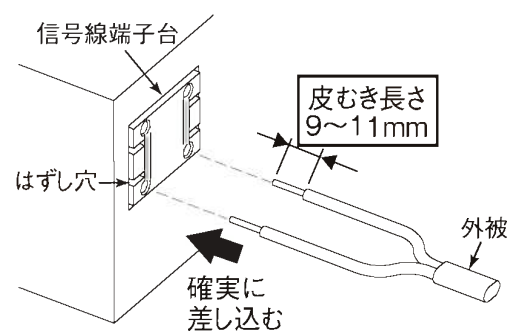
(4) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

- ・電源端子台の送り容量：15A
- ・適合電線：φ 1.6 mm 単線
- φ 2.0 mm 単線



電源線を電源端子台から取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴へまっすぐに押し込む。

(5) 信号線を信号線端子台の差し込み穴に確実に差し込む。  
(接続が不完全な場合、動作不良の原因)



**警告**  
接続部は絶縁被覆処理を確実に施す。(接続部の絶縁処理が不完全な場合、漏電、感電の原因)

**警告**  
・D種（第3種）接地工事を確実に施行する。  
(接続不備は感電の原因)  
・アース工事は電気設備の技術基準に従い施行する。  
(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

**警告**  
・電線の接続は適合太さの電線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ端子台の奥まで差し込む。(差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)  
・電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。(電源線の接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因)  
・送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する。(容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

**警告**  
信号線端子台には電源線を接続しない。  
(過熱・損傷し火災の原因)

**お客様へ** 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。  
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

**【安全上のご注意】**

<b>警告</b>		この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> </div> <p>禁止</p>	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。(感電・火災の原因)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> </div> <p>厳守</p>	被照射面とは1m以上離す。(火災の原因)
	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災・感電・落下の原因)		指定の制御装置と組み合わせて使う。(過熱して火災の原因)
	器具を布や燃えやすいもので覆ったり、被せたりしない。(火災の原因)		設置場所の環境に応じて、定期的に清掃を行う。
	器具のカバーに衝撃を加えたり、破損した状態で使わない。(落下の原因)		器具の清掃は電源スイッチを切ってから行う。(感電の原因)
	器具を覆わない。カバーに何も貼りつけない。(過熱による火災の原因)		煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)
カバーに塗料などを塗らない。(過熱による火災の原因)			

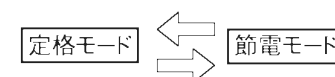
<b>注意</b>		この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> </div> <p>禁止</p>	光を直視しない。(直視すると目を痛める原因)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> </div> <p>厳守</p>	明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。
	点灯中及び消灯直後の器具には触らない。(高温のためやけどの原因)		

**点灯モードの切替**

**1 モードを設定する**

壁スイッチ操作により点灯モード（定格光束）の切替が可能です。

- 定格モード（定格光束）
- 節電モード（定格光束の約75%）

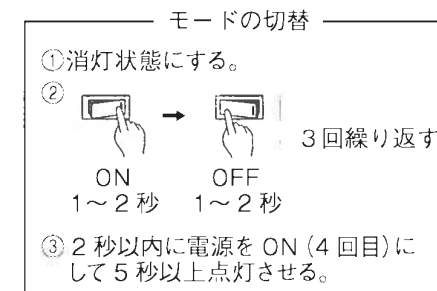


出荷時は定格モードに設定しています。

点灯モード切替完了のお知らせ

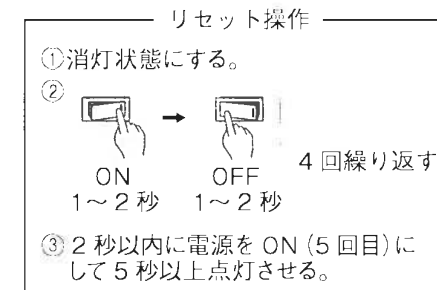
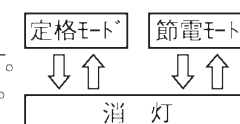
(ON - OFF 操作の直後のみ、明るさの変化によりお知らせします。)

- 定格モード切替：明るさが1回変化します。
- 節電モード切替：明るさが2回変化します。



**2 その他**

- メモリー機能**  
消灯しても消灯前の点灯モードで記憶しています。再点灯後は、消灯前の点灯モードで点灯します。
- リセット操作**  
器具間の点灯モードが揃わない場合は、一度リセットを実施してください。いずれの点灯モードからも定格モードへリセットされます。リセット操作後に明るさが1回変化すればリセット完了となり定格モードでの点灯状態を維持します。



**器具の取扱い**

- ・赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。(雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。)
- ・受信電波が弱い場合には、AMおよび短波放送では雑音が入る場合があります。
- ・器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
- ・放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。